



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年8月29日（月）

問い合わせ先：文化政策室

室長：吉田

担当：吉田(英)・荒川・近藤・清水

電話：829-1225

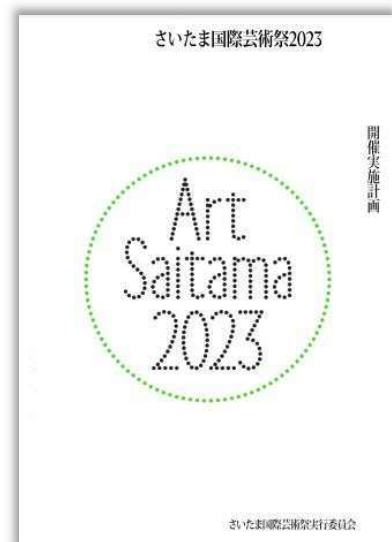
内線：2819

「さいたま国際芸術祭2023」のテーマ・ロゴデザインが決定しました

8月26日に第3回さいたま国際芸術祭実行委員会総会が開催され、「さいたま国際芸術祭2023」のテーマ・ロゴデザインを含めた開催実施計画が承認されました。

開催実施計画をもとに、引き続き、2023年秋の国際芸術祭開催に向けた準備に取り組んでまいります。

- 1: 開催概要
- 2: ロゴデザインが決定
- 3: プロジェクトの展開



1: 開催概要

テーマ 「 わたしたち 」

あなたにとって「わたしたち」とは、誰を指すだろう。

日本を代表する「生活都市」さいたま。人々が日本の中心地へ向かい、そして戻ってくる場所。中心へ、あるいは発展の一途へと脈々と続けられる人間の行動を、とても間近に、そしてそっと側から眺める都市。確たる「主体」というような、積極的な視点からは少しだけ身を引いた、漠然とした感性のあわいが留まる地。この地域には語りきれないほど多種多様の魅力がある。しかし、それをこうだと決定づけようとした瞬間、何かふっと大切なものが失われてしまう、そんな感覚を伴うことがある。いつの間にか加担してしまうこの現実世界から少し距離を取るために、私が尚も「わたし」であり続けるために、決して誰かに明確に語られることなく、とても密やかに日常に繰り広げられる、人間の「無自覚」への微かな抵抗。

この客体的な空間 さいたま から、芸術祭を、そして都市を、更にはこの世界を、もう一度「みる」。気候変動、社会格差、分断、戦争。現代社会を取り巻く、もはや私たち自身の加害性を抜きに語ることのできない様々な問題。この時代を生きる私たちは、一体どのように「わたし」の延長線上に、この世界を捉えることができるだろう。あらためて、私たちが「わたしたち」をみる。そんな機会を、このさいたまの地から届けたい。

(さいたま国際芸術祭2023ディレクター 現代アートチーム 目 [mé])

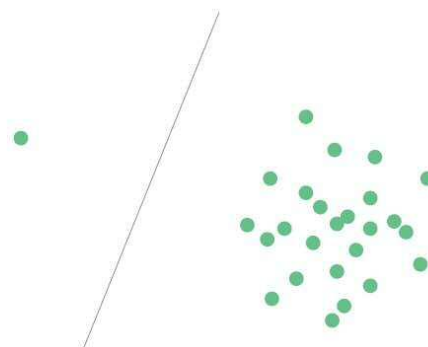
会期	2023年10月7日(土)～12月10日(日) [65日間]
会場	メイン会場：旧市民会館おおみや その他会場：RaiBoC Hall、大宮盆栽美術館、漫画会館、岩槻人形博物館、 鉄道博物館、埼玉県立近代美術館、うらわ美術館、さいたま市 文化センター、その他市内各所
主催	さいたま国際芸術祭実行委員会
プロデューサー	芹沢高志
ディレクター	現代アートチーム 目 [mé]

2: ロゴデザインが決定

ロゴ

最小単位の「ドット」をロゴ化。

固定されたロゴではなく、随時変化/変容するロゴ。



ロゴ・コンセプト

「わたしたち」

このテーマを受け作ったのは、「ドット=わたし」の集まったロゴ。

個々が集まり、ひとつのムーブメントを形作る。

「わたし」は自由に動くこともできるし、

集まれば「わたしたち」となり、流れを生み出すこともできる。

集まり離れ、また、集まる。

意志を持って、「わたし」は「わたしたち」に参加する。

ロゴパターン (例)



さいたま国際芸術祭2023

Art Saitama 2023

デザイナー

高田唯 (Allright Graphics)

グラフィックデザイナー。桑沢デザイン研究所卒業後、2006年にデザイン事務所 Allright Graphics、翌年に活版印刷工房 Allright Printing を設立。国内外のロゴ、サイン、広告、装丁、パッケージデザインなどを手がける。2017年、個展『遊泳グラフィック』をクリエイションギャラリーG8 で開催後、台湾（台中）と上海、北京でも個展を開催。2022年7月にはギンザ・グラフィック・ギャラリーでの個展開催。開催に併せて作品集も出版。2011年 JAGDA 新人賞、2015年日本パッケージデザイン大賞金賞・桑沢賞、2019年 ADC 賞、2020年 TDC 賞、2022年 JAGDA 賞受賞。東京造形大学准教授。JAGDA 会員・AGI 会員。

3: プロジェクトの展開

・アートプロジェクト

国内外で活躍するアーティストによる現代美術、音楽、ダンス、演劇などといった多様な作品やプロジェクトを展開すると同時に、様々な交流の場を創出し、「さいたま」ならではの文化を創造していきます。場所や時間など鑑賞者それぞれに固有の体験をもたらし、変化し続ける芸術祭の在り方を創出し、さいたま市から新たな芸術祭を発信します。

・市民プロジェクト

「共につくる、参加する」市民参加型の芸術祭として、これまで文化芸術活動に取り組んできた方々や、これから取り組んでみようという方々に、市民が主体的に参加できるバリエーションに富んだ機会と場を提供します。

市民プロジェクト・キュレーター

松永康（まつなが こう）

浅見俊哉（あさみ しゅんや）

飯島浩二（いいじま こうじ）

・連携プロジェクト

「盆栽」、「漫画」、「人形」、「鉄道」をはじめとする本市の魅力ある文化芸術資源を活用したプロジェクトを展開するほか、市内に所在する多彩な文化施設で行われる文化芸術事業や開催エリア周辺の商店街などがまちなかを活性化させるために企画・実施する事業との連携を行うことで、さいたま文化の発信、まちの活性化を図ります。